

### Ⅲ 主要施策

#### 1 特別支援教育の総合的な推進

##### 【基本的な考え方】

- 小・中学校に在籍する、障害等により支援を必要とする児童・生徒に対して適切な支援を行うために、教育相談コーディネーターを活用していくとともに、小・中学校の受入体制と特別支援学校から小・中学校に対する指導方法に関する助言などの支援体制の充実を図る。
- 特別支援学校の児童・生徒の障害の重度・重複化、多様化に対応するために、医療等に関する専門性を有する教員等を配置する。
- 既設養護学校の過大規模化に対応するために、相模原方面特別支援学校等の整備を進める。

##### (1) 教員等の配置の充実

###### ア 小・中学校における教育相談コーディネーターの活用と非常勤講師の拡充 810,448千円

小・中学校に在籍する、学習面・生活面で様々な支援を必要とする児童・生徒に対して、適切な学習支援等を行うため、教育相談コーディネーターを継続して活用していくとともに、教育相談コーディネーターに対する支援のための非常勤講師の配置の拡充を図る。

###### イ (新) 障害の重度・重複化、多様化に対応する専門職の配置

障害が重度・重複化、多様化した児童・生徒一人ひとりについて、実態に応じた適切な指導を行うため、医療等に関する専門性を有する教員を県立の特別支援学校に配置する。

(理学療法士、作業療法士など8人配置)

###### ウ 市立特別支援学校への非常勤講師の配置 130,912千円

市立の特別支援学校に非常勤講師を配置し、巡回相談など地域の小・中学校への支援体制を充実することにより、特別支援学校の地域センター的機能を強化する。

###### エ 非常勤看護師の配置 11,048千円

医療ケア等の必要な児童・生徒の増加に対応するため、医療ケア等の実施人数の多い県立の特別支援学校に非常勤看護師を配置し、医療事故の防止などにより安全な体制の確保を図る。(3校に合計3人配置)

###### オ (新) 社会自立支援員の配置 14,546千円

特別支援学校の生徒の就労先の開拓や卒業生の職場定着を図り、企業就労を推進するために、障害者雇用に精通した企業OB等の人材を社会自立支援員として県立の特別支援学校に配置する。(5校に合計5人配置)

(2) 施設整備等

ア 特別支援学校の整備

既設養護学校の過大規模化に対応するため、特別支援学校の整備を行う。

(ア) 相模原方面特別支援学校

402,000千円

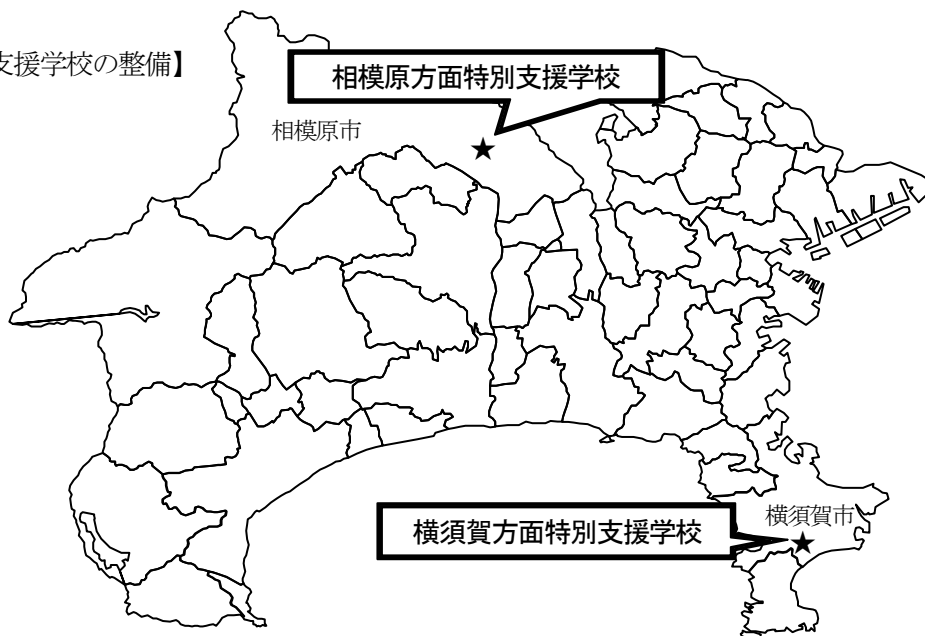
さがみ緑風園跡地に特別支援学校を新設する。(平成23年4月開校予定)

- 建設予定地 : 相模原市高根1-5-36 (元さがみ緑風園)
- 設置予定部門 : 視覚障害教育部門、聴覚障害教育部門、肢体不自由教育部門及び知的障害教育部門
- 建物面積 : 約10,300㎡
- 想定幼児児童生徒数 : 約200名
- 総事業費 : 49億5,667万円 (19年度～22年度)
- 事業内容
  - ・ 相模原方面特別支援学校新築工事設計調査費  
(建物の基本・実施設計)
  - ・ **新**相模原方面特別支援学校整備費  
(既存建物等の除却)
  - ・ **新**相模原方面特別支援学校グラウンド整備事業費  
(グラウンド造成工事の基本設計)

【整備スケジュール】

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
←→ 調査設計	←→ 基本・実施設計	←→	←→ 新築工事	◎開校(4月)
	←→ 除却工事	←→	←→	
	←→ グラウンド基本設計	←→ グラウンド実施設計	←→ グラウンド工事	

【特別支援学校の整備】



(イ) **新** 横須賀方面特別支援学校

32,237千円

高校再編により非活用施設となる岩戸高校（平成20年3月閉校）を改修し、特別支援学校を新設する。（平成22年4月開校予定）

- 建設予定地 : 横須賀市岩戸5-6-5（岩戸高校）
- 設置予定部門 : 肢体不自由教育部門及び知的障害教育部門
- 想定生徒数 : 約135名
- 総事業費 : 8億4,449万円（20年度～22年度）
- 事業内容

- ・ **新** 横須賀方面特別支援学校設計調査費  
（改修工事の基本・実施設計）

【整備スケジュール】

平成20年度	平成21年度	平成22年度
←→ 基本設計	← 改修工事	→
←→ 実施設計		◎開校（4月）

(ウ) 分教室の設置

8,840千円

既設養護学校の過大規模化に対応するとともに、知的障害教育部門高等部生徒の新たな学習の場として、県立高校の教室を活用した分教室を設置する。

20年度は、既設の5分教室に加え、新たに3分教室を開設する。

- 既設分教室 5校（保土ヶ谷養護舞岡分教室・みどり養護新栄分教室・瀬谷養護大和東分教室・鶴見養護岸根分教室・相模原養護橋本分教室）
- 新設分教室 3校（鎌倉養護金井分教室・座間養護有馬分教室・武山養護津久井浜分教室）

イ スクールバスの運行

647,290千円

県立特別支援学校に在籍する児童・生徒の通学のため、スクールバスの増車や車両の更新を行う等、スクールバス運行委託事業を充実強化する。

- 増車分 1台（三ツ境養護学校）
- 新校分 4台（金沢養護学校）
- 更新分 2台（座間養護学校・平塚養護学校）
- 継続分 71台 計78台